

対象クラス	2年 生活文化科	単位数	2
使用教科書	ファッション造形基礎(実教出版)		
使用副教材	なし		

「ファッション造形基礎」はこんな科目です。

被服の構成を理解し、被服材料の種類や特徴など被服製作に関する知識と技術を習得し、ファッション造形の基礎的な能力と態度を育てる科目です。

科目の到達目標（目標とする検定等）

被服材料、構成など総合的に理解するとともに、被服製作に関する基礎基本を身に付け、被服を工夫して製作しようとする能力と実践的態度、応用力を育てます。

家庭科技術検定被服製作洋服2級検定程度の作品製作（シャツブラウス）を通して、被服製作技術の向上を図ります。

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
関心・意欲・態度	・被服製作に興味を持ち積極的に取り組んでいるか。	授業態度、提出物の提出状況
思考・判断・表現	・美しく、手早く仕上げるための手だてについて具体的かつ、理論的に考えようとしているか。 ・人体と関連付けて被服構成を考えようとしているか。	定期考査 実習プリント
技 能	・作品製作に積極的に取り組み、新たな技術を習得して作品を仕上げる事ができたか。	製作物 作品
知識・理解	・専門的な知識を理解しているか。 ・知識と技術を統合し、作品を仕上げる力を身に付けているか。	定期考査、検定 実習プリント

学習計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのか）

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	1章 衣服の構成 2章 衣服の素材 3章 洋服の製作 【前期中間考査】	春課題、基礎縫いの確認 型紙作り・衣服素材性能の理解 衣服の製作 ①シャツブラウスの製作 <練習用> ・裁断、印付け、芯貼り、縫い代 始末	・1年次に習得した技術を確認する。 ・人体と動作、衣服の関係を理解する。 ・シャツブラウスに適した衣服素材を選択する。 ・シャツブラウスの構成は前後身頃、袖、衿から成ることを理解する。 ・芯を施す目的と方法を理解し、適切に芯を貼る。 ・布目の向き、無駄のない型紙の配置に配慮し裁断をする。
前期期末	 【前期期末考査】	・部分縫い（衿作り） ・縫製 ・仕上げ <シャツブラウス用> ・裁断、印付け、芯貼り、縫い代 始末、衿作り	・バイヤステープを使った衿ぐり始末の仕方を理解し縫製する。 ・袖山のいせ込みの目的・方法を理解し縫製する。 ・効率のよい作業手順と適切な縫製技術を身に付ける。
後期中間	 【後期中間考査】	・ボタンホール、ボタン付け ・仕上げ ②スカートの製作 ・スカートの種類と特徴 ・採寸、製図と型紙の作成	・ジグザグミシンを使ったボタンホールの縫い方と適切なボタン付けの方法を理解する。 ・スカートの種類と名称を理解する。 ・スカートに適した素材選択をする。 ・正しい方法で採寸する。 ・製図を理解し、体型に合わせた型紙を作る。
後期期末	 【学年末考査】	・ファスナーつけ部分縫い ・裁断、印付け ・仮縫いと補正 ・縫製 ・着装・評価	・ファスナーの種類と付け方を理解する。 ・仮縫いをし、体型に合わせて補正する。 ・ダーツ縫い、ファスナー付け、ウエスト始末（ベルト付け）を適切にし、手順良く丁寧な縫製をする。 ・ブラウス・スカートの基礎基本の理解度を確認する。